

裏マップ

もう少し知ってほしいから、おかえきあたりの謎を掘り下げてご紹介。

おかえきあたりの謎●歴史編

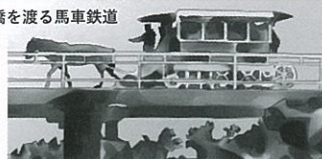
自動車が走っているのに「電車通り」と呼ばれる道があるらしい。

明治時代に岡崎駅から岡崎城下の中心街を結ぶ初めての交通手段として「岡崎馬車鉄道」が岡崎駅〜殿橋間で開通しました。馬が引く客車は幅が76センチほどの細い線路の上を走りました。時代が進み、大正時代には馬車が変わって「岡崎市内電車」が登場。自動車のクラクションのように鐘をチンチン鳴らして走ったことから「チンチン電車」と呼ばれて親しまれました。その後、岡崎の繁華街を50年間走った市内電車は昭和37年に廃止となり、バスへ移行しました。今でも殿橋から岡崎駅までの道路には「電車通り」の愛称が残っています。



JR岡崎駅東の478号線に標識があるよ

殿橋を渡る馬車鉄道



街を走るチンチン電車



岡崎駅東の松平元康像はしばらく修行の旅に出ます。さすが自分磨きを忘れない家康さま！（※駅工事期間中移動）あっ、そーゆーことね

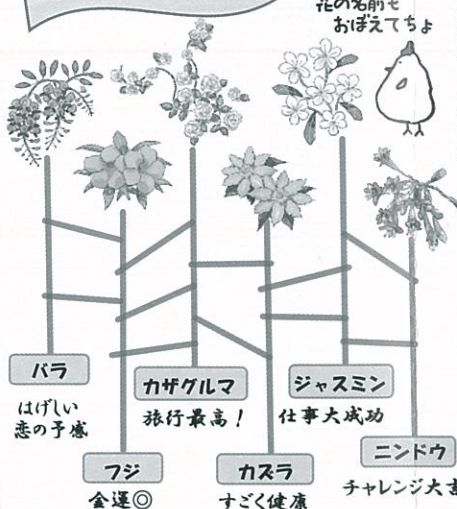
who?

おかえきあたりの謎●自然編

ポケットパークの名前となっている植物には「ある共通点」があるらしい。

人が自然に集まってくる魅力ある街になることをコンセプトにまちづくりが進められ、そのひとつとして岡崎駅東口の駅前広場から北に向かう道路の沿線に6か所の「ポケットパーク」が整備されています。四季を通じて緑や花を感じることができるように、それぞれに異なる植物が植えられていて、それが公園の名前になっています。花と緑の小さな公園は、人々の癒しの場所となっています。

おいらがどうよ
ポケパあみだおい★
あなたの好きな花は？



- バラ: はげしい恋の子感
- カザグルマ: 旅行最高!
- ジャスミン: 仕事大成功
- ニンドウ: チャレンジ大吉
- フジ: 全運◎
- カスラ: ナぞく健康
- チョウセン: (Label partially obscured)

明治21年に羽根村に岡崎駅が開業するまでは、岡崎南部は田園と林が広がる静かな農村地帯でした。羽根村の名前の由来にこんなものもあります。大昔、粘土で、はにわや土器を作る「はにし」と呼ばれる職人が多く住んでおったそうよ。「はにし」がなまって「はに」になつていったんやと。のんびりとした土地だったんですね。鉄道によっておかえきあたりは大きく発展し、現在の姿になりました。



岡崎駅西の6200形蒸気機関車の模型

おかえきあたりの謎●イベント編
月2回「アレ」が出没してたくさんの方が集まってくるらしい。

地産地消の賑やかな新鮮市場「フアーマーズマーケット」が毎月第一、第三土曜日の午前中に開催されています。採れたての野菜や果物、卵、手作りのお惣菜やパン、お菓子など丹精込めて作った自慢の商品が並びます。お店の人との会話もお楽しみの一つです。飲食コーナーや季節のイベントなどもあります。



とれたて、できたてびじも

わったまご...

おかえきあたりの謎●未来編
岡崎駅周辺でまだまだ「何か」が起ころらしい。

岡崎駅東口に新しい公園が誕生しました。名前は「出会いの社公園」。地元の方、岡崎を訪れた方、みんなが出会い、語り、憩える公園になって欲しいとの思いが込められています。今後、ワクワクするようなイベントも予定されています。えうご期待!



公園の中にかくれ「オカザエもん」が!?

おかえきあたりのトリセツ map

どうぞ

